

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S25 -	施策名	住宅耐震事業			
担当部課	建設部都市計画課		関係部課			
基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち		
		分野別項目	2	地区の特性に合った住まいを誘導する		
		施策の進め方	2	人にやさしく安心・安全な住宅の誘導		
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		
		政策分類	6	地域の安心安全をみんなでつくる		
その他（関係法令、要綱等）	長久手市耐震改修促進計画（改訂版）					
施策開始の背景、経緯等	阪神・淡路大震災等の大震災で従来の被害想定を超えた被害に、これまでの地震対策のあり方に多くの課題を残すこととなり、平成19年度に住宅や建築物の耐震化を図るために「長久手市耐震改修促進計画」を策定しました。					
施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） 安心安全なまちづくりの観点から住宅に対する耐震意識を高めるため、木造住宅及び非木造住宅を対象とし、無料耐震診断・耐震改修の補助等を行い地震に強いまちづくりに貢献する。				
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 昭和56年以前の木造住宅及び非木造住宅				
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） 耐震性が確保されるように耐震改修を勧め、工事費の一部を補助することで、住宅の耐震化を促進する。				
	施策に係る主なコスト	① 木造住宅耐震改修工事	675千円	② 木造住宅耐震診断委託	81千円	
目標・成果推移	施策に係る取組	28年度	29年度	30年度	中期（おおよそ3年後）	長期（おおよそ5年後）
		目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
		木造住宅耐震診断40棟、木造住宅耐震改修10棟、非木造耐震診断・設計1棟、非木造耐震改修1棟、耐震シェルター5戸	木造住宅耐震診断40棟、木造住宅耐震改修10棟、非木造耐震診断・設計1棟、非木造耐震改修1棟、耐震シェルター3戸	木造住宅耐震診断40棟、木造住宅耐震改修7棟、非木造耐震診断・設計1棟、非木造耐震改修1棟、耐震シェルター3戸、木造住宅除却3棟	木造住宅耐震診断40棟、木造住宅耐震改修7棟、非木造耐震診断・設計1棟、非木造耐震改修1棟、耐震シェルター3戸、木造住宅除却3棟	木造住宅耐震診断40棟、木造住宅耐震改修7棟、非木造耐震診断・設計1棟、非木造耐震改修1棟、耐震シェルター3戸、木造住宅除却3棟
	住宅耐震化のため、耐震診断及び耐震改修等の促進	目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
		木造住宅耐震診断30棟、木造住宅耐震改修2棟、非木造耐震診断・設計0棟、非木造耐震改修0棟、耐震シェルター0戸	木造住宅耐震診断7棟、木造住宅耐震改修3棟、非木造耐震診断・設計0棟、非木造耐震改修0棟、耐震シェルター0戸			
	新たな補助メニューや既存補助の見直しの検討	目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
—		近隣市町の補助メニューを参考に、新たな補助メニューを検討する。また実績のない施策についての見直しを行う。	近隣市町の補助メニューを参考に、新たな補助メニューを検討する。また実績のない施策についての見直しを行う。	近隣市町の補助メニューを参考に、新たな補助メニューを検討する。また実績のない施策についての見直しを行う。	近隣市町の補助メニューを参考に、新たな補助メニューを検討する。また実績のない施策についての見直しを行う。	
—		30年度から新たに木造住宅除却補助を追加した。				
環境変化	（他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など） ・国、県の補助を受け、全国的に実施している。 ・近隣ではブロック塀の撤去補助を行っている市町もある。					
改善状況	（何をどのような状態に改善したのか） ・木造住宅耐震診断事業促進のため出前講座の開催 ・防災イベントでのチラシ配布 ・新たな補助メニューの検討					
評価	目標達成状況	（目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など） 木造住宅耐震改修について、平成29年度は出前講座や防災イベントでの啓発活動を行い、平成28年度より実績は増加した。				
	課題	（目標達成状況を踏まえ、課題を整理） 平成14年度より木造住宅耐震化事業を行っており、耐震改修に意欲のある市民は既に診断及び改修を行っているため、意欲のない市民の啓発活動が課題である。				
今後	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 啓発活動について、改善の余地があるため、見直し等の検討を行う。木造住宅耐震診断、耐震改修工事の事業を促進する方策と実績のない補助メニューに代わって新たな補助メニューを検討する必要がある。					